

第 15 回 JIIMA ベストプラクティス賞授賞事例について

令和 3 年 9 月 15 日
公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会
理事長 勝丸 泰志

日本文書情報マネジメント協会(略称;JIIMA)は、60 年にわたり文書情報マネジメントの普及啓発に努めている国内唯一の公認団体です。マイクロフィルムの普及からスタートした活動は時代の変遷とともに変化し、現在では「日本のあらゆる組織の価値を高めるために、文書情報マネジメントの実践を通じて DX を加速するようにリードする協会」を目指して、文書情報マネジメントを普及啓発する公益活動を続けております。その一環として 2007 年(平成 19 年)より先進的な文書情報マネジメントシステムを導入し、顕著な成果を出された企業・団体に対して『ベストプラクティス賞』を設け表彰しております。

本年度の第 15 回 JIIMA ベストプラクティス賞は、審査委員会での厳正な審査の結果、下記の 3 事例に授賞が決定し、JIIMA ホームページで公表すると共に、11 月 15 日(月)から開催予定の JIIMA 主催『デジタルドキュメント 2021 ウェビナー』で受賞記念講演を行います。

<記>

(以下、敬称略)

1. エプソン販売株式会社【優秀賞】

- ・推薦者;エプソン販売株式会社
- ・テーマ;「コーポレートカードの全社導入と経費精算システムによる営業のDX化を実現」
- ・評価ポイント;経費精算業務を電子化するにあたり、コーポレートカードの利用により現金精算を 14%にまで抑えたこと、及び導入準備として e-learning による社内教育を充実させ、効率化と適正化を両立させた。

【先進性】

- ・BI ツールを活用した経費精算の実態可視化及び監査報告
- ・電帳法対応とコーポレートカード精算による営業現場の生産性向上の両立

2. 株式会社 JTB【優秀賞】

- ・推薦者;アマノセキュアジャパン株式会社
- ・テーマ;「売上原価・一般経費に関する証憑類の電子保存化(電子帳簿保存法対応)と関連業務の効率化」
- ・評価ポイント;証憑類の電子化及び保存を、社外にいてもモバイル端末を用いて自動的にできるシステムを構築し、添乗員の業務効率化を達成した。

【先進性】

- ・グループ会社のシステムと AI-OCR を連携し、モバイル端末で撮影した証憑から必要データを読み取り管理システムに自動登録

3. 学校法人大東文化学園【奨励賞】

- ・推薦者;株式会社ハイパーギア
- ・テーマ;「学園報の Web 公開化による発行業務の効率化と個人情報の二次利用防止」
- ・評価ポイント;暗号化した PDF をクライアント側に特別なソフトウェアを入れることなくブラウザで閲覧可能とすることで、個人情報保護、機密情報保護並びに著作権保護等に効果を発揮した。

以上

本件連絡先;
公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会
渉外担当部長 黒柳 裕士
〒101-0032
東京都千代田区岩本町 2-1-3 和光ビル 7 階
TEL 03-5821-7351 FAX 03-5821-7354
Email: kuroyanagi@jiima.or.jp